

人とひととの間に笑顔が生まれる社会をめざして活動しています。

地元活動



地元の声を聞く



1月23日に横浜市の主催でIR(統合型リゾート)市民説明会が保土ヶ谷公会堂にて開催されました。横浜市は、税収が増え、バラ色の未来が待っているかのような説明でした。来場した地元の方からは、「人を不幸にしたお金を財源にするのか!」、「横浜はカジノが無くても観光で頑張ろう」と言った反対意見が多数出ていました。私は何れにしても、横浜市民の意見を聞くためにも住民投票の実施が不可欠だと考えます。

出来事の最新!!

プロフィール

- ◆現在 県議会議員1期目 立憲民主党・民権クラブ
- ◆厚生常任委員会
- ◆コミュニティ再生特別委員会
- ◆予算委員会
- ★「ぎんがむら」(子育て支援・保育事業他)代表
- 神奈川県立松陽高等学校卒業
- 東洋英和女学院短期大学保育科卒業
- 元幼稚園教諭 ●保育士

チーム聖子を結成します。

年会費
無料

もちづき聖子を応援するボランティアグループ「チーム聖子」を立ち上げます。入会していただいた方には、活動レポートのお届け、ミニ集会等のご案内をさせていただきます。入会方法はメール、電話で受付けています。

ポスター掲示場所をご紹介ください。

設置等はスタッフにおまかせ下さい。短期間でも結構です。

県議会見学会にご参加ください。

個人・グループ等でお申し込みください。

〒240-0004 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩間町1-9-1 UKビル201
TEL:045-459-5927 FAX:045-459-5928 E-mail: info@mochizuki-seiko.com

もちづき聖子事務所
(横浜市保土ヶ谷区政務活動事務所)



立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

・民権クラブ

県政報告

四季だより
Reiwa2.3

立憲民主党 神奈川県議会議員(保土ヶ谷区)

もちづき聖子

せいこ

立憲民主党
神奈川県議会議員
(保土ヶ谷区)
002号

ごあいさつ



もちづき聖子の想い

新型コロナウィルスの感染拡大は全世界(幼い子から高齢者まで)で、これまでに体験したことのない対応を求められています。「正しく、恐れる」という対応が必要かと思います。こんな時だからこそ冷静に、日常の在り方、地域力の強化を考える機会としたいです。また当たり前のことが、本当は当たり前ではなく、有り難いことなのだと胸に刻み、皆で一緒に乗り越えたいと思うのです。



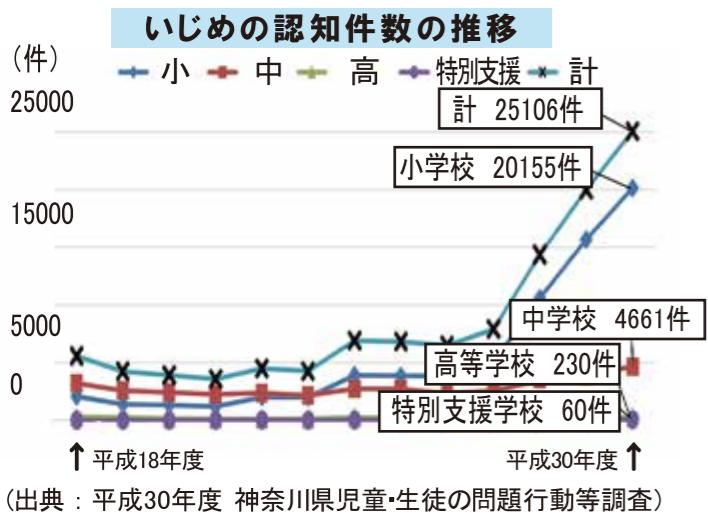
令和2年第1回神奈川県議会定例会 一般質問にて、質問に立ちました。

今議会での質問内容を、ハイライトで記載させていただきます。女性ならではの視点はもちろん、特に取り組みたいテーマである「命の問題」をはじめ、皆様と共に安心して暮らせる神奈川県を目指して、提言を続けてまいりますので、どうか宜しくお願ひ致します。(下記以外にも、保育士の確保・定着、ライフキャリア教育、防災意識の向上など、紙面の都合で掲載できなかった質問など、引き続き様々な課題に取り組んでまいります。)

スクールカウンセラーによる いじめ防止の啓発

社会が複雑化する中で、いじめのない環境づくりを教員だけで行うことは困難であり、専門家であるスクールカウンセラーの支援が必要と考えています。スクールカウンセラーは子どもたちや保護者へのカウンセリング、教職員への助言、外部の専門機関との連携などを通じて課題の解決に当たる役割を担っており、特にいじめ問題については、カウンセリングを通じて解決に寄与していると聞いています。また、スクールカウンセラーは発生している個別の事案に関わることが中心と承知していますが、いじめを未然に防止する観点から多くの生徒や保護者に専門的な立場から直接話しかける啓発活動も有効ではないかと考えております。そこでいじめ防止の観点から、スクールカウンセラーによる生徒や保護者への啓発活動についてどのように考えているのか、所見を伺います。

学校の教職員に加え外部の専門家を活用することが重要です。県教育委員会では、スクールカウンセラーを講師とした、児童・生徒、保護者向けの講演会や、教職員を対象とした研修会などの開催を、県立学校や市町村教育委員会に積極的に働きかけ、より効果的ないじめ防止の啓発活動が行われるよう取り組んでまいります。



昨今の国の動きでは、いじめなどの問題に対応するために「スクールロイヤー」と呼ばれる専門の弁護士を各都道府県などに配置しようとする動きがあります。私はスクールロイヤーも新たないじめ対策として期待できると考えており、必要に応じて活用を検討するよう、あわせて要望しました。

地元!!
保土ヶ谷区

かながわアートホールの活性化

同施設は、地域住民をはじめ多くの県民が利用しており、また、神奈川フィルハーモニー管弦楽団を支える練習場であり、上質な音楽を身近に触れることができる貴重な施設です。これまで以上に多くのファンがいる施設となるよう、様々な取組を実施するとともに、積極的にアートホールをPRしていく必要があるのではないか。



児童虐待の未然防止

体罰や暴言などは、子どもの体と心を傷つけ、成長や発達に悪い影響を与えます。法律で体罰によるしつけを禁止するだけで体罰がなくなることはありません。次の世代に体罰を引き継ぐことなく、体罰によらない子育てのために、子育てに悩む保護者 **もちづき** への支援に取り組んでいくことが必要です。そこで、県として、体罰禁止など児童虐待の未然防止にどのように取り組んでいくのか、見解を伺います。

体罰をなくすことは、虐待予防の観点からも非常に重要です。「知事との対話の広場」や子育て講座の開催を通じ、しつけに体罰はいらないという共通理解を深めていきます。あわせて、リーフレットを作成し、市町村が実施する乳児家庭全戸訪問事業等で活用するなど、関係機関と連携してしっかりと取り組んでまいります。



虐待防止には、子どもが生まれる前後から、両親の状況や子どもの成長を把握することが大切です。そのために、地域や行政で、見守りや子育てをサポートする体制が必要です。子どもは自らの命を守る力や、危険を感じても逃げることはできません。今後も、虐待防止に向けて、きめ細やかな体制をしっかりと作っていくため、今議会後も取り組みを続けてまいります。

人を救う、ゲートキーパーの普及・養成

自殺対策は、行政だけではなく、地域や、企業、学校なども巻き込み、社会全体で取り組む必要があります。その中でもゲートキーパーはこころの不調や、自殺に傾くサインに気づき、相談機関等につなげるなどの役割を担っています。研修で誰もがなるこ**もちづき** とができ、自殺対策の強化につながると考えます。自殺を考えている人を一人でも多く救うため、ゲートキーパーの普及や養成に一層取り組むべきと考えるますが、所見を伺います。

動画やリーフレットを作成し、普及啓発を行っていきます。また、市町村や教育機関と連携して民生委員、児童委員など地域で活動されている方や学校の教員、大学生等に対して、研修の機会のさらなる拡大を図るほか、県庁内でもゲートキーパー育成に取り組んでいきます。



(左写真：ゲートキーパー(こころサポーター)手帳)



一層アートホールの新たなファンを開拓し、利用者を増やす取組を進めていきます。具体的には若い才能の発掘と育成を目指すマグカルシアターの新たな拠点とともに、文化芸術を通じて共生社会の実現を後押しする共生共創事業の活動・発表の場として活用することを考えています。また、子育て世代が乳幼児を連れてワンコインで楽しめる「ランチタイムコンサート」などの事業も実施する予定です。



(神奈川県HP かながわアートホールより)
マグカル：県事業である、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャーの略。